



「地域助け合いビジネス塾」を受講しました

『地域助け合いビジネス塾』が7月20日からスタートし、計5回のコミュニティビジネス(CB)の講座をスタッフ4名が受講しました。講座の参加者は、56名。NPO・企業・行政・個人など本当にさまざまな方が参加されていました。皆さんたいへん熱心に受講されていたのが印象的でした。

さて、講座の内容はたっぷりしかも無料。特に、第1回目の講座「コミュニティビジネスの成功例」は、大満足のでした。講師は、コミュニティビジネスサポートセンター事務局の永沢映先生。CBの位置付けから始まり、NPOの役割、CBの成功事例を多数紹介していただきました。



ちなみに、CBの定義を言うと「地域の問題解決を、地域の資源(人やものなど)を使って、ビジネスの視点を入れて解決する」と表せます。といっても、なかなか福井県内にはうまい成功事例がなく、理解しにくいのが現状です。

国は、CBを強力に推進しています。その理由の一つとしては、自治体は税収が減ってきており、行政運営の効率化が求められていることにあります。職員の削減によるサービスの質の低下を防ぐために考えたのがNPOとの協働です。しかし、行政がパートナーとして組めるNPOはなかなか少ないのが現状です。結果、NPOのあり方を見直す必要が発生しました。NPOが継続的に質の良いサービスを提供でき、信頼のおける存在に育てるため、CBを実施することで、ボランティア型から事業型NPOへの転換を進めています。

さて、「持続可能な地域社会を目指す」ラピュタも、CBに挑戦です。「もうひとつの武生は可能だ」を信じて、楽しく自爆系爆走中というところでしょうか。

関心のある方はご連絡ください。勉強会を開いています。

「武生地域ケア」が始まりました

ラピュタは、中心市街地活性化の手段として、地域の高齢者のケアを目的とするコミュニティビジネス(CB)「武生地域ケア」に参加することにしました。

昨年の11月から12月にかけてラピュタではCB勉強会を5回に渡って開き、武生におけるCBの可能性をさぐりました。これをきっかけに蔵の辻界隈の店主がCBの研究会を始めました。一方、高齢者のケアのあり方に関心を抱く、女性を中心とした研究グループが以前からあり、ラピュタを含めたこれら3グループは、各々が抱える地域の問題を解決するために新たに「武生地域ケア」を組織し、地域の高齢者ケア事業を行うことにしました。「武生地域ケア」が提供するサービスによって、「住み慣れた地域での老後、仲間との老後」を実現し、地域商店との連携をとりながら、中心市街地の活性化を図っていきます。

この事業を促進するために、福井県中小企業団体中央会の「ニュービジネス展開促進事業」の補助金を申請したところ、採用されました。今年度中に地域介護事業のマーケット調査やサービス拠点の比較、施設形態・規模、提供サービス、対象者像、利用料金の選定、さらには資金調達計画などといったことまで細かく計画を立てる予定です。この事業に興味のある方は、ラピュタご連絡を、詳しく説明させていただきます。

「地域ブランド」を創造するぞ!

三国町の14団体とラピュタがいっしょになって「三国湊魅力づくりプロジェクト」に取り組むことになりました。このプロジェクトは、福井県の「地域ブランド創造活動推進事業」にも採択されました。なぜ、三国町の魅力づくりに武生のラピュタが係わるのか。それはラピュタ設立時からの夢であるラピュタ農場建設の可能性をさぐる中から発生してきました。ご存知のようにラピュタは武生ならではの生活様式「衣食住」の追求を主たるミッションの一つにしています。

地元で収穫した作物、例えば「大豆」を原材料のまま大都会の市場に出せば10円だとします。ところがこの大豆でおいしい豆腐を作って販売すれば100円になります。さらに、この豆腐を蔵の辻のおしゃれなレストランで豆腐ステーキとして出せば500円にもなります。間違いのない食材に魅力的な付加価値を付ければ10円の大豆が500円に変身してこの地域にカネが流通します。評判の蔵の辻豆腐ステーキを地域外の人が食べにすれば「外貨」獲得にもなります。

この農場建設と豆腐製造販売のノウハウを三国町にあるおけら牧場の山崎さんご夫婦から、今、教えていただいています。こんな関係から「三国湊魅力づくりプロジェクト」に係わることになったのですが、山崎さん等の提唱している「ラーバン」という考え方が実はこれからの武生のまちづくりに指針を与えてくれる気がしています。ルーラル(田舎/農村)とアーバン(都会)を合体した造語である「ラーバン」については次号でまた詳しく述べさせていただきます。

ラピュタ otona の文化祭」を今年も開催! 10/1(金) ~ 17(日)



ラクガキ屋 ヒサさんが描いた今年のポスターです

昨年の秋から始めた「otonaの文化祭」を今年も10/1~17の17日間、盛大に開催します。昨年は13の企画でしたが、今年はラピュタからの呼びかけに35の企画が集まりました。持続可能な武生の暮らしを見つめ、それぞれの切り口でご提案します。きっと素敵な何かに出会わず、秋の蔵の辻界隈をお楽しみに!

種から展 10/30(土)～11/7(日)

ラピュタのご近所陶処「辻風」のメンバーを中心に若手陶芸家たちが開催するグループ展です。今年のテーマは「ふたつでひとつ」。個性豊かな作品がそろい、見るも楽し、使うのも楽しいといった内容なることウケアいです。この秋、蔵の辻の空間を200個以上の灯りのオブジェで彩ってくれる彼らのグループ展に注目ください。

**草月華展** 11/21(日)～23(祝火)

ラピュタ講座の一つ「草月流生け花教室」の作品展を開催します。

月に2回火曜日の夜に、田中秀萌(しゅうほう)先生による生け花教室がラピュタ工房にて開かれています。その受講生の皆さんによる創作いけばな展。

晩秋に、どんな花を生けていただけるでしょうか、お気軽に会場にお越しください。

**きっちゃんどんの豆腐を販売中**

注目の大豆イソフラボンがたっぷり入った三国の大豆丸ごと豆腐「きっちゃんどん」のお豆腐を毎週火曜日に予約販売しています。きっちゃんどんの想いと、ラピュタの夢がぴったりと一致。彼らの作るこだわりの豆腐を通じて、ラピュタの夢を皆さんにお伝えしたい、形にしたいと、販売をはじめました。

ご注文は、ラピュタまで。

**地域経済を再生する「神野理論」を勉強中です**

東京大学経済学部長である神野直彦さんが、小泉構造改革に真っ向から反対の論陣を張っています。アメリカ一辺倒、東京などの大都会一辺倒になってしまう「市場主義」に運命を委ねていても武生の明日は絶対ない、これは断言できますが、それではこの強大な「市場主義」に立ち向かうような対案はないものかと探していたら、ついに神野理論に行き着きました。

サッチャー、レーガン、中曽根政策の後継者と自認する小泉内閣が目指すものは、グローバル化した市場主義の世界経済下、世界的都市間競争に勝てる日本の大都会の構築整備です。多くの日本の持てる資産(ヒト・モノ・カネ)を都会に集中しようとしています。このことが進めば、一部の勝ち組大都会と多くの負け組地方都市、一部の勝ち組大企業と多くの負け組零細企業になるのは必定です。と神野さんは言います。この筋道でいけば、武生は明らかに負け組になりそうです。それでは武生のような地方都市が生き残る道はあるのか。神野さんは、「ある」といって次のように説明しています。

時代は今、「重化学工業社会」から「知識社会」への移行期にある。地方都市が生き残るには、工業社会時代に荒んだ地域の「環境」を回復し、「文化」を復興して、誰もがそこに住みたくするような地域社会を再構築することである。そこには有能な人材が集結してくる。人材が集まれば、知識社会に適合した知識集約産業の発展が期待できる。こうしてアメリカを頂点とする市場主義の世界経済とは直結しない、自立した地域社会を構築することが今重要である。地域経済の発展とは地域社会に内在する能力の解放である。

毎週金曜日夜8時からの「ラピュタde茶論」で勉強会をしています。興味のある方はぜひご参加ください。

**こだわりの豆乳スイーツとラーバンの森のお話の会**

この会は、武生の街なかと田舎のつながりを再生し、街なかの暮らしを考えようとするのちのちの会と共同で企画しました。

三国町に「おけら牧場」という小さな牧場があります。その小さな牧場の一角に「ラーバンの森」と名づけられたログハウスが建ちました。ラーバンの森では様々な活動が行われています。野菜、果樹、米や小麦、お肉や卵、肥料の生産、その生産物を利用した料理教室やパン教室、時々勉強会やコンサートも開催されます。今年から、現金のかわりに「カウ」という地域通貨を使えるようになりました。お金ではなくても働けば必要なものはそこそこ手に入れる事ができます。隣の森の中にはきのこの「ほだ木」をたくさん伏せました。銀杏の樹も、栗の木も、くるみの木も植えました。

みなさん、「ラーバンの森」とは一体どういう意味なのか知りたくないですか？又、そこに集う人達は何をめざし、何を求めてラーバンの森に集まるのでしょうか。おけら牧場の住人の山崎夫妻が3回に渡り、「ラーバンの森」のお話をくり広げます。

また、おからの出ない製法でつくられる大豆まるごと豆腐で大人気の「きっちゃんどん」の豆乳と地元有機農法の野菜を使ってつくる、こだわりの「豆乳スイーツ」をみんなでおいしくいただきます。パティシエは、県内の洋菓子の方が腕をふるいます。ぜひご参加ください！定員は20名です。お申込みはラピュタまで。



1回目の会の様子です

- 第1回 9/23(祝) 好評のうちに終了しました！
 第2回 10/11(祝) 1:00～ お話会 講師 山崎一之
 3:00～ 豆乳スイーツを味わおう！
 第3回 11/14(日) 1:00～ お話会 講師 山崎夫妻
 3:00～ 豆乳スイーツを味わおう！

会員募集

武生での新しいライフスタイルを提案・実施しているラピュタ創造研究所では、正会員・賛助会員を募集しています。わたしたちの目的や考え方にご賛同くださる方、ぜひご入会ください。

年4回発行のラピュタ通信、その他のおしらせをお届けします。

【正会員】 会費 10,000円(期間4月～3月)

【賛助会員】 会費 3,000円(期間4月～3月)

振込先：福井銀行武生支店(普) 1412545 特定非営利活動法人ラピュタ創造研究所

*その他、寄付金も受付けてます。会員に関する詳しいお問合せ・お申込みはラピュタまで。

特定非営利活動法人

ラピュタ創造研究所

私たちは、持続可能な地域社会をめざします

〒915-0074

福井県武生市蓬萊町5-1

tel 0778-21-3190 fax 0778-21-0676

E-mail info@laputa21.com

URL http://laputa21.com/